

報告事項 1.

平成27年度 事業報告

【公益目的事業】

1. 調査・研究事業の推進

1-1 調査・研究

石油及び周辺エネルギーに関する科学技術の一層の発展，石油・エネルギーの安定供給，及び地球環境の保全を図るため，部会活動を中心に調査・研究を行った。

1-1-1 部会活動

(1) 精製部会

プロセス分科会では，平成27年7月31日(金)に日本CCS調査(株)苫小牧事業所にて，CCSの実証実験設備の見学会及び勉強会を実施した。

(2) 製品部会

1) ガソリン分科会で以下の活動を行った。

- a) CFRオクタン価照合試験を行い，平衡燃料レベル法と動的燃料レベル法の比較検討を行った。
- b) CFRオクタン価試験器保有機関の実態調査を目的としたアンケートを行った。

2) 燃料油分科会では，測定精度の把握と維持を目的に第20回CFRセタン価照合試験を行った。

3) アスファルト分科会で以下の活動を行った。

- a) 舗装用アスファルトの劣化状況診断に化学分析を適用する検討を行った。
- b) TLC/FID法によるアスファルト組成分析試験に用いる試薬変更の検討を行った。

4) 絶縁油分科会で以下の活動を行った。

- a) 絶縁油関連の文献を調査し，最新情報の共有化を図った。
- b) Stray gassing（これまでよりも比較的低温領域で可燃性ガスを多量に生成する現象）に関する文献調査と試験方法の検討を行った。
- c) 電気絶縁油ハンドブック（講談社発行，石油学会編）の追補版作成の検討を行った。

5) 試験分析分科会で以下の活動を行った。

- a) 標準試料委員会からの依頼を受け，放射線式励起法による軽油の硫黄分の分析法の検討を行った。
- b) 石油製品中のナトリウム分，カリウム分の分析にICP発光法を適用する検討を行った。
- c) エンジン油の軽油希釈率試験方法にキャピラリーカラムを適用する検討を行った。
- d) エンジン油のガソリン希釈率試験方法にキャピラリーカラムを適用する検討を行った。
- e) 平成27年10月23日(金)に(株)リガク 大阪工場，および日本インスツルメンツ(株)大阪工場にて，最新の分析設備の見学会を実施した。

(3) 装置部会 装置委員会

1) 回転機分科会では，「ポンプ高経年劣化」についての調査を継続実施し，結果を「End of service 機器対応」として第15回 回転機研究討論会で報告した。

2) 配管分科会では，高圧ガス保安協会に対しKHKS-0801の改訂にあわせ，年度指定を外すこととJPI規格の反映を要望した。またJPI-7S-65-2011「フランジ及びバルブのPTレーティング」と高圧ガス認定弁規定の規制緩和について継続検討している（専門誌「配管技術」への投稿など広報活動を強化）。

3) 設備保全分科会では，以下の情報交換を移動委員会にて行った。

- * 設備管理技術の紹介（「常圧蒸留塔 防食管理システムの自動化」「新冷却水処理技術」「古くて新しいトッパー防食技術」「検査困難な対象部への腐食検査事例」など）

*製油所における事例紹介（最近の不具合事例）

- 4) 計装分科会では、石油会社各社に「計装分野の人材育成・技術伝承」に関しアンケート調査を実施し、結果を第31回計装研究討論会でパネルディスカッションとして報告した。
- 5) 電気分科会では、平成27年10月22日(木)、23日(金)に電気及び電気制御関連会社の施設研修会を行った。WG1では「人材育成に係る失敗の活かし方」のための調査を実施し、WG2では電気維持規格関連フォローアップとして「高経年電気機器に対する技術評価、更新」に関するアンケートを実施してその結果をまとめ、それぞれ電気研究討論会で成果を報告した。
- 6) 保安分科会では、製油所設備の「変更管理」について調査を昨年に継続して実施した。

(4) 経営情報部会

下記、WGを設置し、調査・検討を行った。

「シナリオプランニング Part 2

～Shell New Lens Scenariosを通して見る世界と日本のエネルギー～

「石油・石油化学プラントにおける装置関連データの分析・評価手法の調査・研究」

(5) 新エネルギー部会

次世代バイオ燃料分科会で以下の活動を行った。

- a) 平成27年10月26日(月)、27日(火)にスメーブジャパン、及び石巻専修大学にて微細藻バイオ燃料の見学会及び勉強会を実施した。
- b) 次世代バイオ燃料の国内動向について調査を実施した。

1-1-2 受託、参加事業

- (1) (一財)石油エネルギー技術センターが実施する重質油等高度対応処理技術開発事業のうち、「先導的適応技術に関する調査」を受託し、実施した。
- (2) (一財)国際石油交流センター（現 JCCP国際石油・ガス協力機関）が実施する「産油・産ガス国事業環境整備等事業」のうち、①産油国等研究者の受入事業、②産油国連携合同シンポジウム事業、に参加し、調査・研究を実施した。

1-2 成果公開・普及

前述の部会、委員会活動や受託事業で得られた調査・研究の成果並びに創立以来蓄積された石油及び周辺エネルギーに関する知見を様々な形で広く公開した。石油及びエネルギーに関する情報の普及に努めることで、国民がこの分野に関心を持ち、石油資源の現状とその有効利用に対する理解を深めること、本分野の研究者・技術者のすそ野が拡大することを目指した。

1-2-1 会誌（一般誌）

- (1) 会誌（「ペトロテック」月刊）を発行し、会員に配布したほか、一部外部に頒布した。

- 1) 各月の主な内容は次表のとおりである。

	27年									28年			合計 件数
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
時評	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
座談会	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	10
一般総説・資料	10	8	9	7	10	10	10	10	11	9	11	9	114
エネルギー関連団体紹介	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3
在外研究MAP	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	4
全国事業所紹介	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	5
暮らしの中のものさし	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
私事白書	1	0	1	0	1	0	2	0	1	0	1	0	7

Debutant	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	6
辛口放談	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
讚嘆石油史！	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ふるさと自慢	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
趣味談議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
JPIJSだより	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
今月の一口メモ	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
エネルギー知ってるはず	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	1	7
新技術紹介	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	6
おすすめの一冊	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3
統計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
全頁数	92	72	68	84	88	88	82	86	85	82	78	88	993

2) 上記以外の特集記事を以下のとおり掲載した。

＊平成27年4月号「ようこそ石油・石油化学業界へ」

＊平成27年9月号「水素社会の到来と石油・石油化学業界」

3) その他、国内・海外の最近のニュース、論文誌掲載論文目次、学会活動を報告する「学会の窓」などを掲載した。

4) 読者アンケートと、その結果を参考とした座談会を開催し、平成27年12月号にアンケート結果と今後の対応についての報告を掲載した。

1-2-2 広報

(1) 講演会、研究発表会等の学会活動を報道各社に紹介した。

(2) ホームページコンテンツの一層の充実を図るとともに、学会行事や学会活動の成果を随時ホームページにて紹介した。

(3) 会員を始めとするWeb閲覧者向けに実施している「ペトロテック」の過去掲載記事を検索・閲覧するサービスとして、第38巻第6号までの記事を公開した。

1-2-3 講演会等（移動大学、支部講演会、JPIJS講演会、部会講演会）

(1) 多くの方々に石油に関する理解や興味を深めてもらうため、大学生（院生を含む）や一般市民を対象として、移動大学「石油関連セミナー」を石油連盟の支援のもとに実施した。平成27年度は19の大学・機関において講義数65コマを、さいたま市では市民講座を実施した。本年度の聴講延べ人数は約3,915人であった。開始した平成9年度からの累計は総コマ数1,087コマ、聴講延べ人数約87,600人に達している。

(2) 支部講演会等

[北海道支部]

- 1) 平成27年7月18日(土)に化学系学協会北海道支部合同夏季研究発表会を共催した（函館市）。
- 2) 平成27年10月23日(金)に第8回実践的石油学講習を企画し、実施した（室蘭市）。
- 3) 平成27年11月20日(金)に触媒学会北海道支部札幌講演会を共催した（札幌市）。
- 4) 平成27年12月9日(水)に第15回北海道支部講演会を企画し、実施した（旭川市）。
- 5) 平成28年1月19日(火)、20日(水)に化学系学協会北海道支部合同冬季研究発表会を共催した（札幌市）。

[東北支部]

- 1) 平成27年4月27日(月)にJX日鉱日石エネルギー(株)（現 JXエネルギー）仙台製油所にて見学会を実施した。
- 2) 平成27年11月16日(月)に第32回東北支部講演会を企画し、実施した（山形市）。
- 3) 平成28年1月12日(火)に触媒学会東日本支部東北地区講演会を共催した（秋田市）。

[東海支部]

- 1) 平成27年11月5日(木)、6日(金)に開催された名古屋大会(第45回石油・石油化学討論会)では実行委員会を組織し、準備・運営に協力した。
- 2) 平成27年8月下旬に、東海地区の4石油会社の製油所・事業所にて東海地区大学院生を対象に行われたインターンシップ事業に協力した。東海地区の5大学から8名の学生が参加した。また、平成27年9月7日(月)にインターンシップ研修報告会を企画し、実施した(名古屋市)。
- 3) 平成27年9月7日(月)に第4回東海支部講演会を企画し、実施した(名古屋市)。

[関西支部]

- 1) 平成27年6月12日(金)に三井化学(株)大阪工場にて企業見学会を実施した。
- 2) 平成27年9月18日(金)にコスモ石油(株)堺製油所にて第23回学生企業見学会を実施した。
- 3) 平成27年10月28日(水)に第22回関西支部セミナーを日本エネルギー学会関西支部と共催した(大阪市)。
- 4) 平成27年12月4日(金)に第24回関西支部研究発表会を日本エネルギー学会関西支部と共催した(大阪市)。

[中国・四国支部]

- 1) 平成27年12月11日(金)に第34回中国・四国支部講演会を企画し、実施した(東広島市)。
- 2) 平成28年1月22日(金)に第20回中国・四国支部技術交流会を企画し、実施した(倉敷市)。
- 3) 平成27年夏に中国・四国地区の4製油所・事業所にて学部・大学院生を対象に行われたインターンシップ事業に協力した。中国・四国地区の3大学から7名の学生が参加した。

[九州・沖縄支部]

- 1) 平成27年10月23日(金)に第32回九州・沖縄支部講演会を企画し、実施した(北九州市)。
- 2) 平成27年11月10日(火)に第33回九州・沖縄支部講演会を企画し、実施した(大分市)。
- 3) 平成28年3月10日(木)に第34回九州・沖縄支部講演会を企画し、実施した(鹿児島市)。

(3) JPIJS講演会

- 1) 平成27年5月27日(水)に開催の第64回研究発表会に併せて、第20回若手研究者のためのポスターセッションを開催した。45件の発表があり、最優秀ポスター賞を1件、優秀ポスター賞を2件選定し、表彰した。
- 2) 平成27年11月5日(木)、6日(金)に開催の名古屋大会(第45回石油・石油化学討論会)において、国際セッションを企画し、最優秀賞を選定し、2名に授与した。
- 3) ペトロテック各号に「JPIJSだより」として行事報告等を掲載した。
- 4) その他、全国においての活動は次のとおりである。

[北海道・東北地区]

- a) 平成27年7月26日(日)、27日(月)に第55回オーロラセミナーを触媒学会と共催した(北海道雨竜郡)。
- b) 平成28年2月15日(月)に北海道・東北地区講演会を開催した(秋田市)。

[関東地区]

- a) 平成27年6月29日(月)に精製部会プロセス分科会協力のもと、JPIJS関東地区討論会「石油産業の役割と若手エンジニアの未来像」を開催した(上田市)。
- b) 平成27年11月19日(木)に出光興産(株)千葉製油所にて企業見学会を実施した。
- a) 平成27年11月26日(木)に精製部会プロセス分科会協力のもと、JPIJS関東地区討論会「石油産業の役割と若手エンジニアの未来像」を開催した(東京)。

[関西地区]

平成27年8月27日(木)、28日(金)にコロキウム2015を日本エネルギー学会関西支部、石油学会関西支部と共催した(芦屋市)。

[九州地区]

- a) 平成27年7月17日(金), 18日(土)に第26回若手ケミカルエンジニア討論会を化学工学会九州支部と共催した(伊万里市)。
- b) 平成27年11月10日(火)に第33回九州・沖縄支部講演会を九州・沖縄支部と共催した(大分市)。

(4) 部会講演会

[資源部会]

- 1) 平成27年10月7日(水)に非在来型シンポジウム「シェールを取り巻く環境の変化～シェールは生き残れるか?」を新エネルギー部会と共同で企画し, 実施した。
- 2) 平成27年11月5日(木), 6日(金)に開催の名古屋大会(第45回石油・石油化学討論会)において「石油・天然ガス開発」のセッションを企画し, 協力した。

[精製部会]

- 1) 平成27年6月29日(月)に開催したJPIJS関東地区討論会の実施に協力した。
- 2) 平成27年11月26日(木)に開催したJPIJS関東地区討論会の実施に協力した。
- 3) 平成27年10月13日(火)に平成27年度精製講演会を企画し, 実施した。
- 4) 平成28年2月19日(金)に第41回精製パネル討論会を企画し, 実施した。
- 5) 第40回精製パネル討論会会議録〔平成27年2月16日(月)開催〕を平成27年5月に発行した。

[石油化学部会]

- 1) 平成27年11月5日(木), 6日(金)に開催の名古屋大会(第45回石油・石油化学討論会)において「水銀除去」「生物にエネルギー生産を学ぶ」「ポリマー・オリゴマー」のセッションを企画し, 協力した。
- 2) 平成27年12月8日(火)に第23回触媒シンポジウム「石油化学における原料の多様化」を企画し, 実施した。

[製品部会]

- 1) 平成27年11月30日(月)に2015石油製品討論会「石油資源の更なる有効活用と環境調和」を企画し, 実施した。
- 2) 絶縁油分科会では, 平成27年6月12日(金)に第35回絶縁油分科会研究発表会を企画し, 実施した。

[装置部会-装置委員会]

- 1) 平成27年11月5日(木), 6日(金)に開催の名古屋大会(第45回石油・石油化学討論会)において「石油精製(設備保全)」のセッションを企画し, 実施した。
- 2) 回転機分科会では, 平成27年7月15日(水)～17日(金), 7月29日(水)～31日(金), 11月18日(水)～20日(金), 及び平成28年2月24日(水)～26日(金)に初級者向け教育講座を企画し, 実施した。また, 平成27年9月18日(金)に第15回 回転機研究討論会を企画し, 実施した。
- 3) 平成27年11月30日(月), 12月1日(火)に第46回装置研究討論会「設備管理で大切なこと」を企画し, 実施した。
- 4) 配管分科会では, 平成27年12月10日(木)に第12回配管技術セミナー「石油・石油化学工業用バルブの基礎技術の習得」を企画し, 実施した。
- 5) 電気分科会では, 平成28年3月4日(金)に第16回電気研究討論会「失敗は成功のもと ～次の一歩に向けて～」を, また平成27年9月10日(木)に若手技術者を対象とした「電動機の基礎とトラブル事例」に関する勉強会を実施した。
- 6) 計装分科会では, 平成28年3月8日(火)に第32回計装研究討論会を, また平成27年8月28日(金)に若手技術者の人材育成を目的とした「事例交換会」を企画し, 実施した。

[新エネルギー部会]

平成27年10月7日(水)に非在来型シンポジウム「シェールを取り巻く環境の変化～シェールは生き残れるか?」を資源部会と共同で企画し, 実施した。

1-2-4 規格の制定・普及

[製品部会]

新たに次の規格を刊行した。

- * 5R-76-15 [エステル系電気絶縁油の品質指針] 平成27年7月22日に制定。

[装置部会]

(1) 装置委員会

1) 機器分科会では、次の規格類の改訂、見直しを実施した。

- * 7R-28-97 [塔そう類温度圧力基準] 平成27年12月24日に改訂。
 - * 7R-51-91 [空冷式熱交換器の構造] 見直し。
- 2) 配管分科会では、次の規格の改訂、見直しを実施した。
- * 7S-81-05 [配管ガスケットの基準] 平成27年12月24日に改訂。
 - * 7R-93-15 [石油工業用ジョイントシート] 平成27年12月22日に制定。
 - * 7S-14-97 [石油工業配管用アーク溶接鋼管] 見直し。
 - * 7S-41-05 [配管用うず巻型ガスケット] 見直し。
 - * 7S-46-11 [鋳鋼製フランジ型及び突合せ溶接型弁] 見直し。
 - * 7S-67-06 [石油工業用バルブの基盤規格] 見直し。
 - * 7S-73-10 [石油工業用オリフィスフランジ] 見直し。
 - * 7S-77-10 [石油工業用プラントの配管基準] 見直し。
 - * 7R-78-98 [保温・保冷の設計・施工指針] 見直し。
 - * 7S-84-96 [石油工業用鋼製ボス，ブランチアウトレット及びプラグ] 見直し。
 - * 7S-90-02 [管の曲げ加工法] 見直し。

(2) 設備維持規格委員会

次の規格の改訂及び追補の公開を実施した。

- * 8S-4-10 [電気設備維持規格] 平成27年9月25日に改訂。
- * 8S-6-10 [屋外貯蔵タンク維持規格] 平成27年12月24日に改訂。
- * 8S-1-14 [配管維持規格]，8S-2-09 [設備維持規格]，8R-11-14 [防食管理]，8R-13-14 [検査技術]，8R-15-13 [フランジ・ボルト締付管理] 追補，平成27年12月2日に発行。
- * 8S-5-12 [計装設備維持規格] 追補，平成27年12月2日に発行。
- * 8S-2-09 [設備維持規格] 見直し。
- * 8R-17-09 [ホットスタート] 見直し。

1-2-5 設備維持管理士

(1) 資格付与

設備維持管理士認定委員会において設備維持規格の内容に関する試験を行い、合格者に設備維持管理士の資格を付与した。また、規格内容に関する講習会及び管理士資格者を対象とした更新講習会を開催した。

- 1) 平成28年1月8日(金)に東京で、回転機維持規格講習会、及び回転機維持管理士更新講習会を実施した。
- 2) 平成28年1月12日(火)に東京で、電気設備維持規格講習会、及び電気設備維持管理士更新講習会を実施した。
- 3) 平成28年1月13日(水)に東京で、計装設備維持規格講習会、及び計装設備維持管理士更新講習会を実施した。
- 4) 平成28年1月15日(金)に東京で、平成28年1月18日(月)に京都で、配管・設備維持規格講習会を実施した。
- 5) 平成28年2月14日(日)に東京及び大阪で、設備維持管理士認定試験を実施した。その結果、配管・設備維持管理士として55名(受験者数175名)、回転機維持管理士として63名(受験者数

78名), 電気設備維持管理士として17名(受験者数40名), 計装設備維持管理士として12名(受験者数42名)をそれぞれ認定した。

- 6) 平成28年2月19日(金)に東京で, 平成28年2月22日(月)に京都で, 配管・設備維持管理士更新講習会を実施した。
- 7) 設備維持管理士更新講習会は, 認定証の有効期限が平成28年3月31日及び平成29年3月31日の認定者が対象で, 各講習会終了後ただちに認定証の更新手続きを行った。その結果, 配管・設備: 84名, 回転機: 44名, 電気設備: 17名, 計装設備: 16名をそれぞれ更新認定した。

(2) 表彰

平成27年11月5日(木)に第1回設備維持管理士育成優良事業所表彰式を名古屋大会で行い, 10事業所を表彰した。

2. 研究・技術開発の支援

2-1 研究発表会, 石油・石油化学討論会, 論文誌刊行

石油及びその周辺エネルギー分野における研究, 技術開発の一層の推進を図るため, 研究者や技術者の成果発表や情報交換の場として, 研究発表会及び石油・石油化学討論会を開催した。さらにこれらの成果を論文誌として刊行・公開した。

- (1) 平成27年5月27日(水)に第64回研究発表会を開催した。
- (2) 平成27年11月5日(木), 6日(金)に名古屋大会「今改めて, 石油とエネルギーの未来を語ろう」(第45回石油・石油化学討論会)を開催した。
- (3) 論文誌「Journal of the Japan Petroleum Institute」(隔月刊)を発行し, 維持会員(404部), 公共会員(21部)及び普通会員・学生会員の購読希望者(231部)に配布したほか, 外部に各号25部を頒布した。また国内に48部, 海外に64部を寄贈した。平成27年度の掲載内容は次表のとおりである。J-Stage上では本誌オンラインジャーナルを第59巻第1号までを公開した。昨年1年間の論文ダウンロード件数は約66,000件(うち海外は約50,000件)となっている。

巻数 号数	58巻				59巻		合計
	3	4	5	6	1	2	
総合論文	4	4	2	2	—	2	14
一般論文	4	4	8	2	4	2	24
ノート	—	—	—	—	—	—	
技術報告	—	—	—	—	—	—	
レター	—	—	—	—	1	—	1
投書	—	—	—	—	—	—	
件数合計	8	8	10	4	5	4	39
全頁数	66	67	94	39	34	36	336

2-2 研究助成

平成28年度の助成金交付対象者を以下の2名に決定した。また, 応募申請件数の増加を図るため, 助成の件数を増やす内容で規則の改定を行った。

- (1) 「非水素添加系での多環芳香族の接触分解による単環芳香族への転換」
(助成額 100万円) 信州大学 助教 嶋田 五百里 氏
- (2) 「高選択的ヒドロシリル化に有効な担持合金触媒の開発」
(助成額 100万円) 首都大学東京 助教 三浦 大樹 氏

2-3 表彰

石油学会表彰規程，野口記念賞表彰規程，並びに国際表彰規程により，学会賞2件，論文賞2件，技術進歩賞2件，奨励賞4件，国際技術交流賞1件の授賞を決定した。

また，表彰対象者の本会研究発表会での積極的な成果発表及び本会論文誌への投稿を図るため，表彰運営規則の推薦様式ほかを改定した。

2-4 国際交流

- (1) 韓国工業化学会との技術交流を継続した。
- (2) 名古屋大会では旭川大会に続き国際セッションを JPIJS が企画し，実施した。依頼講演を含む 12 件の発表があった。

【収益事業】

1. 受託事業

- (1) 製品部会ガソリン分科会において，(株)石油産業技術研究所から「新規自動車の制御技術に燃料性状が与える影響調査」について受託し，調査・試験を実施した。
- (2) 製品部会燃料油分科会において，(株)石油産業技術研究所から「ディーゼル車の燃料供給システム調査」について受託し，調査・試験を実施した。

2. 図書及び標準試料認定・販売事業

2-1 図書販売

- (1) 石油及び周辺エネルギー分野の啓発及び技術の発展を目的に販売している以下の図書について，出版社より販売部数に応じて販売手数料を得た。
「新版 石油精製プロセス」「石油化学プロセス」「石油辞典」「石油がわかれば世界が読める」
- (2) 「石油化学プロセス」（2001年刊行）の改訂版刊行に向け，編集委員会の構成を検討した。

2-2 標準試料認定・販売

平成27年度の認定数（販売数）は次のとおりである。硫黄分（1933），窒素分（234），ニッケル・バナジウム分（41），FIA用（14），軽油硫黄分（433），標準ガソリン（119），引火点（1,060），総計は3,834であった。

【共益事業】

1. 溶接士の認定事業

- (1) 平成20年6月から(一社)日本溶接協会にJPI規格4種の免許証発行業務を移管している。平成27年度の認定者数は821名で，現在までの累計認定者数は139,805名である。
- (2) 平成27年11月25日(水)に東北・北海道地区溶接功労賞受賞者2名の表彰を行った。

2. 会員交流事業

- (1) 製品部会潤滑油分科会では，JPI-5S-15-05 [陸用ディーゼルエンジンピストン評価法] を関連の業界技術者に普及するため，平成27年11月19日(木)，20日(金)に第42回レイティングシンポジウムを開催した。
- (2) 講演会等の開催に併せて参加者の交流を目的に懇親会を開催した。

3. 会員向けサービス

本年度も毎月1回，普通会员及び維持会員あてに本会のトピックス，行事案内，募集などを記載したメールマガジンを発信した。

【法人管理】

1. 庶務事項

役員の登記手続き

平成27年5月26日就任の新役員の登記手続きは7月に終了した。

2. 法人運営

(1) 法人管理・運営にあたり、以下の会議を開催した。

理事会（4回）、運営会議（5回）、顧問会（1回）、事業推進会議（1回）、役員等候補者選定委員会（1回）、財務委員会・WG（4回）、職員人事委員会（2回）

(2) マイナンバー制度実施に向け、個人番号利用目的通知書、特定個人情報の適正な取り扱いに関する基本方針を制定するとともに、特定個人情報取扱規程を新たに制定した。

(3) 下記規程類を改定した。

- * 設備維持管理士育成優良事業所表彰規則
- * 役員、委員の旅費規程
- * 役員、委員の海外旅費規程
- * 外国人招聘規程
- * 装置部会運営規則
- * 研究助成規則
- * 表彰運営規則

(4) 会員増強活動として、次の取り組みを行った。

1) 新卒者を対象とした入会初年度会費半額キャンペーンを継続した。

2) 企業の社員を対象とした入会キャンペーンを、ペトロテック編集委員会と連携して実施した。ペトロテック第38巻第4号に特集記事「ようこそ石油・石油化学業界へ」を掲載し、これを用いて主に新入社員、若手社員を対象にした入会勧誘活動を行った。

3) 本会役員を中心に維持会員の勧誘を行った。

(5) 他学協会、その他の団体から事業の共催、協賛などの依頼を受けて積極的に協力した。

【会員数の状況】

平成27年度末（平成28年3月31日）と前年度末の会員数の比較は次表のとおりである。

項目 会員別	平成27年 3月31日現在	平成27年度会員数の増減			平成28年 3月31日現在
		増	減	増または減	
名誉会員	37	2	1	1	38
普通会員	2848	187	176	11	2859
学生会員	184	119	83	36	220
小計	3069	308	260	48	3117
維持会員					
1級	17	0	0	0	17
2級	9	0	0	0	9
3級	31	0	2	△2	29
4級	21	0	0	0	21
5級	179	8	0	8	187
小計	257	8	2	6	263
公共会員	22	0	1	△1	21
総合計	3348	316	263	53	3401

【委員会・部会の会合数】

平成27年度の会合数は次表のとおりである（傘下の委員会を含む）。

会 合 名	数	会 合 名	数
通常総会	1	資源部会	4
事業推進会議	1	精製部会	2
理事会	4	プロセス分科会	9
顧問会	1	ペトロリオミクス分科会	8
運営会議	5	石油化学部会	3
財務委員会	4	製品部会	3
役員等候補者選定委員会	1	ガソリン分科会	16
研究助成委員会	1	燃料油分科会	16
職員人事委員会	2	潤滑油分科会	11
支部長会議	1	アスファルト分科会	7
会員拡大委員会	1	絶縁油分科会	21
刊行委員会	0	試験分析分科会	13
石油化学プロセス編集準備委員会	1	装置部会	3
ペトロテック編集委員会	11	設備維持規格委員会	40
Working Group 委員会	56	装置委員会	6
論文誌編集委員会	7	機器分科会	9
研究・技術企画委員会	4	回転機分科会	21
国際委員会	1	配管分科会	28
海外協力分科会（合同シンポジウム）	2	計装分科会	25
海外協力分科会（研究者受入）	2	電気分科会	18
表彰委員会	2	設備保全分科会	10
表彰推薦委員会	1	保安分科会	5
表彰選考委員会	6	経営情報部会	19
教育委員会	3	新エネルギー部会	5
部会連絡会	2	次世代バイオ燃料油分科会	4
国際交流賞表彰委員会	1	溶接士検定委員会	2
		標準試料委員会	7
		設備維持管理士認定委員会	40
		合 計	474

【講演会，討論会，研究発表会並びに見学会等の実施】

月	日	曜	名 称	開催地	講演数	参加者数
平成27年						
5	26 27	火 水	第56回通常総会，第58回年会－特別講演，受賞講演 受賞講演，依頼講演，第64回研究発表会， 第20回JPIJSポスターセッション	東京	7 40 45	233
6	12	金	第35回絶縁油分科会研究発表会	京都	11	139
9	18	金	第15回 回転機研究討論会	東京	10	244
11	5 6	木 金	名古屋大会「今改めて，石油とエネルギーの未来を語ろう」 － 特別講演，依頼講演，懇親会， 第45回石油・石油化学討論会	名古屋	19 189	495
10	13	火	平成27年度精製講演会 「激動の石油産業，高度化技術の応用とブレークスルー」	東京	8	97
10	7	水	「非在来型」シンポジウム「シェールを取り巻く環境の変 化～シェールは生き残れるか？」	東京	7	68
12	8	火	第23回触媒シンポジウム 「石油化学における原料の多様化」	東京	5	75
12	6 7 8	日 月 火	第25回日本－サウジアラビア合同シンポジウム 記念行事，講演会	ダハラン	6	100 150
11	30	月	2015石油製品討論会 「石油資源の更なる有効活用と環境調和」	東京	16	115
11 12	30 1	月 火	第46回装置研究討論会「設備管理で大切なこと」	東京	9	141
12	10	木	第12回配管技術セミナー 「初級編～石油・石油化学工業用バルブの基礎技術の習得」	東京	7	139
平成28年						
1	8	金	設備維持規格講習会，管理士更新講習会（回転機）	東京	—	85
1	12	火	設備維持規格講習会，管理士更新講習会（電気設備）	東京	—	35
1	13	水	設備維持規格講習会，管理士更新講習会（計装設備）	東京	—	34
1	15	金	設備維持規格講習会（配管・設備）	東京	—	46
1	18	月	設備維持規格講習会（配管・設備）	京都	—	44
2	2 3	火 水	第17回日本－クウェート合同シンポジウム	クウェート	8	100
2	14	日	2015年度設備維持管理士認定試験 （配管・設備，回転機，電気設備，計装設備）	東京 大阪	—	347
2	19	金	第41回精製パネル討論会	東京	3	148
2	19	金	設備維持管理士更新講習会（配管・設備）	東京	—	49
2	22	月	設備維持管理士更新講習会（配管・設備）	京都	—	35
3	4	金	第16回電気研究討論会 「失敗は成功のもと ～次の一歩に向けて～」	東京	6	80
3	8	火	第32回計装研究討論会	東京	6	126

以上